

第35回日本医療薬学会年会 市民公開講座

参加費
無料

2025年11月24日(月・祝)

第1部 13:30~14:30 第2部 14:30~15:30

神戸国際会議場 3階 国際会議室



第1部

ワクチンと ウイルス感染症

座長 伊藤 清美 (武蔵野大学薬学部)

演者 森 康子 (神戸大学大学院医学研究科附属
感染症センター臨床ウイルス学分野)



森 康子
(もり やすこ)

講演内容

新型コロナウイルスによるCOVID-19のパンデミックに世界中が恐怖に落ちました。ワクチンはその中でCOVID-19の収束に向けて明るい光を灯しました。長い歴史の中で、ウイルス感染症の予防や撲滅にはワクチンが大きな力となっています。今回の講座では、ワクチンの歴史、そしてウイルス感染症と関わりについてお話したいと思います。

プロフィール

近畿大学医学部卒。大阪大学医学部附属病院眼科および眼科関連病院にて眼科医師として臨床に従事。その後、基礎研究を志し、大阪大学大学院医学系研究科博士課程入学。博士課程修了後、ドイツエアランゲン大学医学部研究員。大阪大学大学院医学系研究科助手、助教授、(独)医薬基盤研究所チーフプロジェクトリーダーを経て神戸大学大学院医学研究科教授。受賞：小島三郎記念文化賞、HHV-6 foundation's Dharam Ablashi Lifetime Achievement Award、神戸大学学長表彰、兵庫県科学賞、「多ヶ谷勇記念ワクチン研究」イスクラ奨励賞

第2部

薬剤師の視点が 物語にもたらす影響

座長 金 啓二 (神戸朝日病院薬剤科)

演者 愛野 史香 (作家・薬剤師)



愛野 史香
(あいの ふみか)

講演内容

私にとって小説は「他人の感情を学ぶためのツール」です。日常で他人と話していても、常にその本心まで知ることはできません。しかし小説では、登場人物の深い心の内や感情の変化を知ることができます。私の書く小説には、すべてに薬剤師の経験が活かされています。今回は薬剤師の視点が物語にどう作用するのかをお話しします。

プロフィール

佐賀県嬉野市生まれ・在住。
福岡大学卒業後、薬剤師として勤務。
2024年、角川春樹小説賞を『あの日の風を描く』で選考委員満場一致にて受賞。
7月15日に受賞後第一作『天使と歌う』を刊行。

参加方法

申込方法 事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

受付場所 神戸国際会議場 3階 国際会議室前

受付開始 2025年11月24日(月・祝) 13:00~

■主催／一般社団法人日本医療薬学会

■問い合わせ先

第35回日本医療薬学会年会 運営事務局
株式会社JTコミュニケーションデザイン
コンベンション第二事業局内

Tel: 06-4964-8869 Fax: 06-4964-8804
E-mail: 35jsphcs@jtbcom.co.jp